

2012年度 応用物理学科 新1年生ガイダンス 主任挨拶

小澤徹

応用物理学科新入生の皆様、入学おめでとうございます。
応用物理学科を代表してお祝い致します。

本学創設に当って大隈重信侯が先ず構想したのは理学 Science・物理学 Physics でありました。明治15年(1882年)開校と共に設置された理学科は、残念乍ら一人の卒業生も出せないまま、翌年廃止されてしまいますが、理学・物理学と本学の繋がりは大変強かったのです。

応用物理学科の設立は昭和24年(1949年)です。物理学を基礎として新しい学問分野を切り拓いて行くのが応用物理学科の使命です。新しい学問が新しい技術に結び付けば、社会が豊かになり国の発展に役立ちます。それは、半導体・デバイス・ロボット・音声認識・グラフィックスの研究開発が如何に役立っているかを考えれば明らかです。スマートフォンは応用物理学の塊みたいな物です。

しかし研究の最先端に到達するには、しっかりとした基礎が無ければなりません。皆様はこれから物理学や数学をはじめとする学問の基礎をしっかりと学ぶこととなります。近代物理学の基礎を作ったガリレオ・ガリレイは「宇宙は数学の言葉で書かれている」と述べています。ニュートンの書いた所謂『プリンキピア』の直訳は「自然哲学の数学的諸原理」となります。数学も物理学も技術もバラバラな分野ではなく、密接に繋がっているのです。ガリレオ・ガリレイやニュートンは、哲学者であり、物理学者であり、数学者であり、技術者でもあったのです。

応用物理学科では、様々な側面から自然現象を理解し、未来の物理・これからの科学技術を切り拓く、世界最高水準で世界最先端の研究・教育が行われています。皆様のライバルは、日吉の塾でもなければ大岡山の工業学校でもなければ本郷の自称 **The University** でもありません。皆様のライバルはニューヨーク、シカゴ、パリ、ロンドンに居るのです。これからはしっかりと勉強して行きましょう。

入学おめでとう。